

令和元年度 日本大学総合科学研究所
個人研究費 研究実績報告書

所 属 総合科学研究所
資 格 准教授
氏 名 中村律子



研究課題	コーチングの教師モチベーションとチームビルディングに対する効果について
報告の概要	今年度も引き続き日本語講座プログラム総コーディネーターとして講座運営を行いながら「教師モチベーションの向上と望ましいチームビルディングのあり方と方法」についての実践研究を行なった。現場の教師のモチベーションをあげるための方法論を探るため、今年度からコーチングに関する文献に加え、組織論、経営論、本質行動学のサーベイを行なった。具体的にはコーチング、経営学、マネジメントに関する文献研究に加え、ワークショップ、本質行動学のマネジメントスクールで学ぶ等、コーチングのあり方、組織運営における本質行動を学びながら、現場で生かす実践研究を行った。 また、フィンランド国家ソーシャルワーカーが開発した「C×3ブースター」（コミュニケーション、コラボレーション、コーポレーションの3つの要素を高めるためのコミュニケーションカードツール）と日本で開発された「いろくみ」（クリエーションツール）を用い、クリエイティブ思考を高め、互いに協働的に関わるための日本語講座教職員研修を実施した。 さらに、講師のキャリア面談を設け、コーチングを行った。C×3ブースターを1週間毎日体験できるC×3ブースターウィークを実施し、教師間のコミュニケーションの活性化を図った。学期半ばで、担当教師間で課題をシェアし、ゴールを共有、担当者全員で取り組める報告と情報共有の仕組みを構築した。
	複数の非常勤講師から共同研究が生まれ、それぞれの所属する学会で日本語講座での実践発表が始まった。さらに、担当クラス、担当レベルが違う講師同士の連携により、新しい教材が生まれつつあり、複数の講師が協働して新しい教材や教え方（コーチング的なかわりを具体的に示した日本語ワークシート等）の開発を行い、学部や外部に開かれたオープンプレゼンテーション等にチャレンジしている。必修クラスの講師が選択科目クラスの課題解決に協力したことで探究研究が成功するなど、協力し合う講師間チームのダイナミズムが生まれている。

研究活動 ・ 雑誌論文 著書名・論文表題・雑誌名・査読の有無・巻・発行年・頁数 ・ 学会発表 発表者名・発表表題・学会名・発表年月日・場所 ・ 図書 著書名・出版社名・署名・発行年・総頁数	「チームで同じゴールを目指そう！教職員のチーム力を高める現場づくりの試み」ポスター発表 平成元年 11 月 3 日 アカデミック・コーチング学会 第 4 回年次大会 にて（於 明治大学）
---	--